

# ランチョンセミナー

昼食無料

企業・団体によるランチョンセミナーが開催されます。  
ランチョンセミナー参加者には先着順で昼食を無料でお配りいたします。

開催日	時間	会場	定員	主催企業・団体
3/11 (水)	12:15-13:00	B1	200	応用物理学会 (APEX/JJAP)
		B3	100	クレステック
3/12 (木)		B3	100	エリオニクス
		B4	100	WITec
		B1	100	シュプリンガー・ジャパン
		B6	100	物質・材料研究機構 (NIMS)
		3/13 (金)	B5	100

各セミナーの詳細につきましては、**次ページ以降のご案内** をご覧ください。

## 参加方法

ランチョンセミナー参加ご希望の方はRegistration内の「ランチョンセミナー参加受付」で参加票をご提示ください。その場で「整理券」をお渡します。

その整理券に**お名前、ご所属、メールアドレスをご記入の上**、昼12時10分までにランチョンセミナー会場へお越しください。

## 整理券の配布

参加票をご提示いただき、整理券を配布いたします。

◆ 配布場所: Registration内 「ランチョンセミナー参加受付」

◆ 配布時間: 各日 8:00~11:00

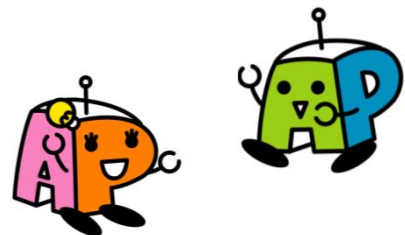
**※先着順。整理券が無くなり次第、受付を終了いたします。**

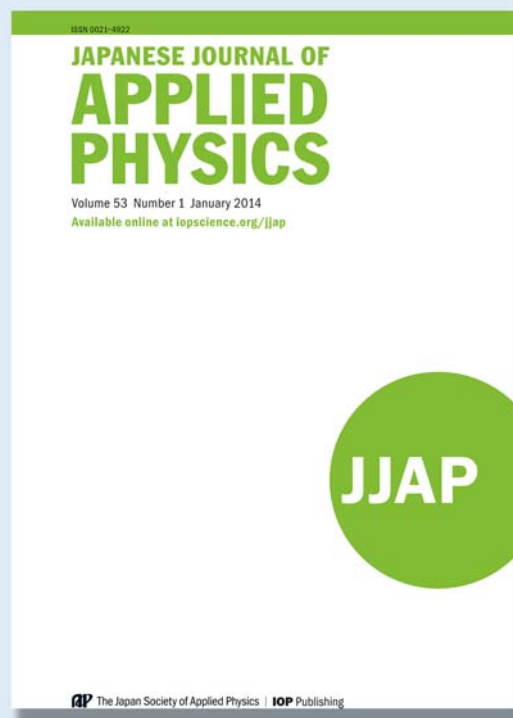
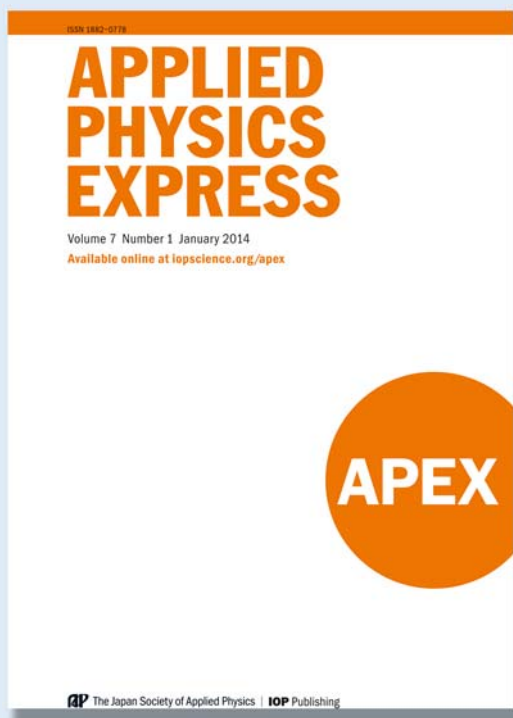
## 注意事項

「整理券」をお持ちの方は、お昼の12時10分までに各セミナー会場で昼食と引き換えてください。**12時10分を過ぎると「整理券」は無効**になり、「整理券」をお持ちでないセミナー参加者へ昼食をお配りいたします。

## 整理券をお持ちでない方

12時10分までに各セミナー会場に直接お越しください。  
昼食の残りがあつた場合に限り、先着順で昼食をお配りいたします。  
昼食が無くなつた場合でも、ご入場いただきセミナーに参加していただけます。





## APEX/JJAP Luncheon Seminar

日時: 2015年3月11日(水) 12:15 - 13:00  
会場: B1 (6B-101 / 6号館1階)

**「英語論文の書き方と国際出版の必要性」**  
サンドゥー・アダルシュ (Adarsh SANDHU)  
豊橋技術科学大学・教授

<講演内容>

なぜ論文を投稿し、出版したいのか／テンスに悩まない技／IMRAD式による論文の書き方をご説明します。  
高品質なカバーレターの重要性／出版された論文は引用されますか？引用率向上の技。

**Dr. Matthew Salter**  
IOP Publishing, Publishing Manager Asia-Pacific

Journals sites at [iopscience.org/apex](http://iopscience.org/apex) and [iopscience.org/jjap](http://iopscience.org/jjap)



Published in partnership with  
The Japan Society of Applied Physics

# CRESTED

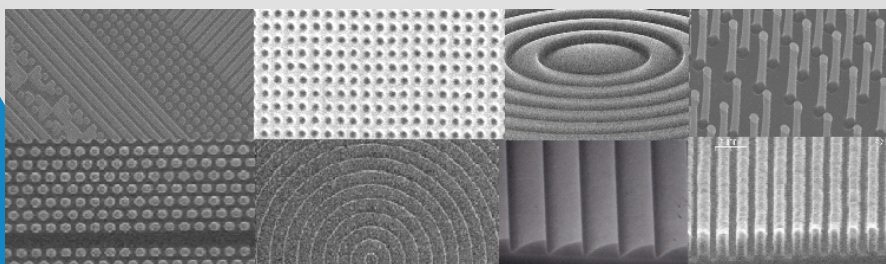
## 株式会社クレステックの 応用物理学会ランチョンセミナー

- 会場: B3 (6B-103)
- 日時: 3月11日 (水) 12:15~13:00



### 講演内容：

- ・ 電子線描画装置について
- ・ EB描画の受託加工
- ・ 学会発表でうまく話すコツ



第 62 回応用物理学会春季学術講演会

# エリオニクス ランチョンセミナーのご案内

日 時

2015年 3月 1 2日(木) 12:15~13:00

会 場

B3 6B-103

演 目

極表面の計測分析セミナー  
～表面性状、表面力、ナノ硬さ～

<http://www.elionix.co.jp>

株式会社 エリオニクス

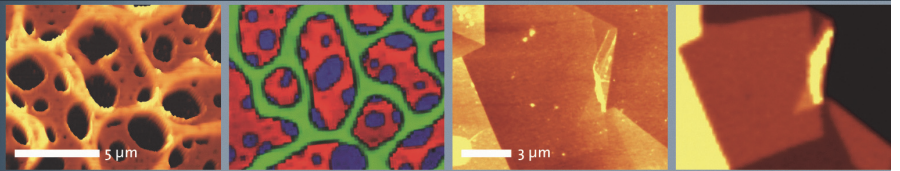
[本社・工場・ショールーム] 〒192-0063 東京都八王子市元横山町3-7-6 TEL.042-626-0611 FAX.042-626-6136

[ナノテクシステムセンター] 〒192-0012 東京都八王子市左入町279 TEL.042-692-0610 FAX.042-692-0690

[西日本営業所] 〒563-0025 大阪府池田市城南1丁目9-22グリーンプラザ2F TEL.072-754-6999 FAX.072-754-6990



# AFM/共焦点ラマン顕微鏡 alpha300AR



ガラス基板上的のブレンドポリマー 左: AFM凹凸像 右: 共焦点ラマン像

Si基板上的のグラフェンフレーク 左: AFM凹凸像 右: 共焦点ラマン像

## WITecランチョンセミナーのご案内

**日時** 2015年3月12日 (木) 12:15~13:00

**会場** B4 (6B-104)

**演題** 「AFM/SEM+ラマン」という提案  
~表面形状と化学特性から広がる試料評価



Microscopy  
TODAY'S  
INNOVATION AWARD



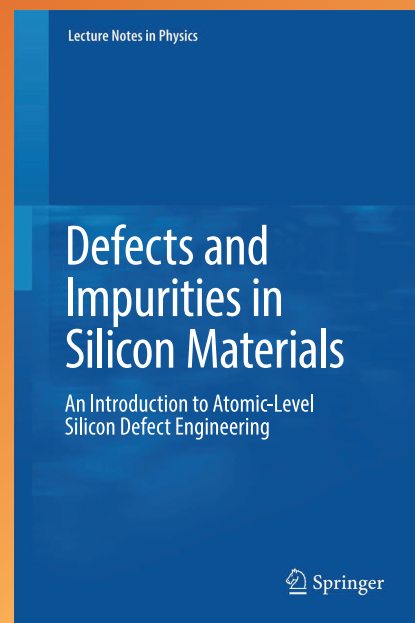
2015年 第62回 応用物理学会春季学術講演会

# Springer ランチオンセミナー

Your Partner  
in Publishing

日時: 3月12日(木) 12:15~13:00

会場: 東海大学 湘南キャンパス 6号館1階 B1会場 (6B-101)



テーマ

## 英文書籍の執筆

静岡理科大学 吉田 豊 先生



書籍は、長年の研究の集大成として世に広める役割を果たします。それが英文であることで読者層は世界へ広がります。さらに書籍の電子化による世界への普及の速さは、研究発信にとっても魅力的な一面になりつつあります。

本セミナーでは、英文書籍を執筆することの利点やプロセス、どのようなアイデアや業績が書籍をまとめるのに役に立つか、Springerの著者が豊富な経験を共有します。

# STAM Science and Technology of Advanced Materials

第 62 回応用物理学会春季学術講演会 ランチョンセミナー：STAM 誌が注目する研究領域

## マテリアルズゲノム—世界動向と日本

**日時** 3月12日(木) 12:15 - 13:00

**会場** B6 (6B-106, 東海大学 6号館 1階)

**主催**



独立行政法人 物質・材料研究機構  
National Institute for Materials Science



IOP Publishing

参加方法等詳細は ▶ <http://meeting.jsap.or.jp/luncheon.html>

2011年6月に発表された米国大統領イニシアチブの一つ「マテリアルズゲノムイニシアチブ」では、材料開発のスピードアップを達成すべく、材料研究開発に用いられる、計算機シミュレーション、実験的手法、およびデータをツールとしてそれらの高度化をはかることが一つの目標となっている。このことを背景とし、ハイスループット第一原理計算、ハイスループット材料合成・分析、マルチスケールモデリング、材料データベースなどの活動に注目が集まっている。これらの研究活動は、コンピュータによる系統的かつ高速な情報処理によって、多種多様かつ大量のデータを効果的に利用する「データ活用型研究」を包含することが特徴であり、また狙い所でもある。講演では、こうした研究活動の俯瞰の試みについて報告し、将来の可能性について議論したい。

**司会：目 義雄 / STAM 編集副委員長 / 物質・材料研究機構先端材料プロセスユニット長**

**12:15** 編集委員長挨拶 (吉田 豊信 / 物質・材料研究機構フェロー)

**12:20** STAM Updates (山口 周 / STAM 編集副委員長 / 東京大学教授)

**12:25** 講演『マテリアルズゲノム—世界動向と日本』  
(門平 卓也 / 物質・材料研究機構調査分析室)

**12:50** 質疑応答

### 講演者 / 門平 卓也

独立行政法人物質・材料研究機構調査分析室主任エンジニア。  
2007年2月にNIMS入所後、研究企画業務に従事。近年、米国マテリアルズゲノムイニシアチブを端緒として活発化するデータを活用する材料研究に関して、海外動向調査を継続的に進めている。NIMSで連続開催された理事長主催勉強会シリーズ「マテリアルズ・インフォマティクス」の世話人。



第62回 応用物理学会春季学術講演会

(株)サーモ理工／アステック(株)

# ランチオンセミナーのご案内

日時

2015年3月13日(金) 12:15~13:00

会場

B5 6号館 1階 (6B-105)

演目

- ◆ 赤外線加熱と応用例 (株)サーモ理工
- ◆ プラズマ中ガス質量分析、最新二次イオン質量分析計  
アステック(株)

<http://www.kagaku.com/thermo/>



熱と共に歩む

株式会社サーモ理工

〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀8-7-3三鷹ハイテクセンター  
TEL 0422-76-2511 FAX 0422-76-2514  
E-mail: sekigai@thermo-r.co.jp

<http://www.astechcorp.co.jp>

アステック株式会社

〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場4-39-7 高田馬場21ビル  
TEL03-3366-0818 FAX 03-3366-3710  
E-mail: science@astechcorp.co.jp